

平成28年（2016年）第1回市議会定例会本会議（3月25日）

予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第15号から第24号まで、第33号、第34号、第36号から第38号まで及び第42号の以上16件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

本議案は、2月9日の予算決算常任委員会理事会において、担当する各分科会に送付することを決定し、3月4日、7日、8日、9日、10日、11日、14日、15日及び16日の分科会において、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、3月23日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑はなく、総括質疑を行いました。

総括質疑での主な質疑を申し上げますと、議案第15号平成28年度横須賀市一般会計予算は、マイナンバー制度における「公」と「民」の取り扱い情報の相違点及び市民周知の方法、浦賀奉行所300周年記念事業の実施に向けた本市取り組みのあり方及び予算措置の必要性、子育てファミリー等応援住宅バンクの事業目的及び本市政策目的との

矛盾、中学校完全給食実施を想定した迅速な取り組みの必要性についてであります。

次いで、関沢敏行委員ほか3名から議案第15号に対する修正の動議が提出され、これを議題とし、修正案の説明を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、予算修正することによる中学校完全給食の実施時期への影響、教育委員会の独立性の担保及び適切な合意形成プロセスの重要性についてであります。

次いで、討論において、小室卓重委員から議案第15号において、放課後児童支援員等処遇改善等加算、放課後子ども環境整備事業、くりはま花の国施設改修事業及び廃棄物広域処理施設建設事業について反対する旨の意見が、小林伸行委員から議案第15号に対する修正案における中学校の昼食のあり方検討事業について賛成する旨の意見が、大村洋子委員から議案第15号に対する修正案における中学校の昼食のあり方検討事業について反対する旨の意見がそれぞれあり、採決の結果、議案第15号は、賛成多数で一部修正の上、可決すべきものと決定しました。

また、議案第17号、第19号、第20号、第22号、第23号、第33号、第

34号、第36号、第38号及び第42号の以上10件は全会一致で、議案第16号、第18号、第21号、第24号及び第37号の以上5件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。